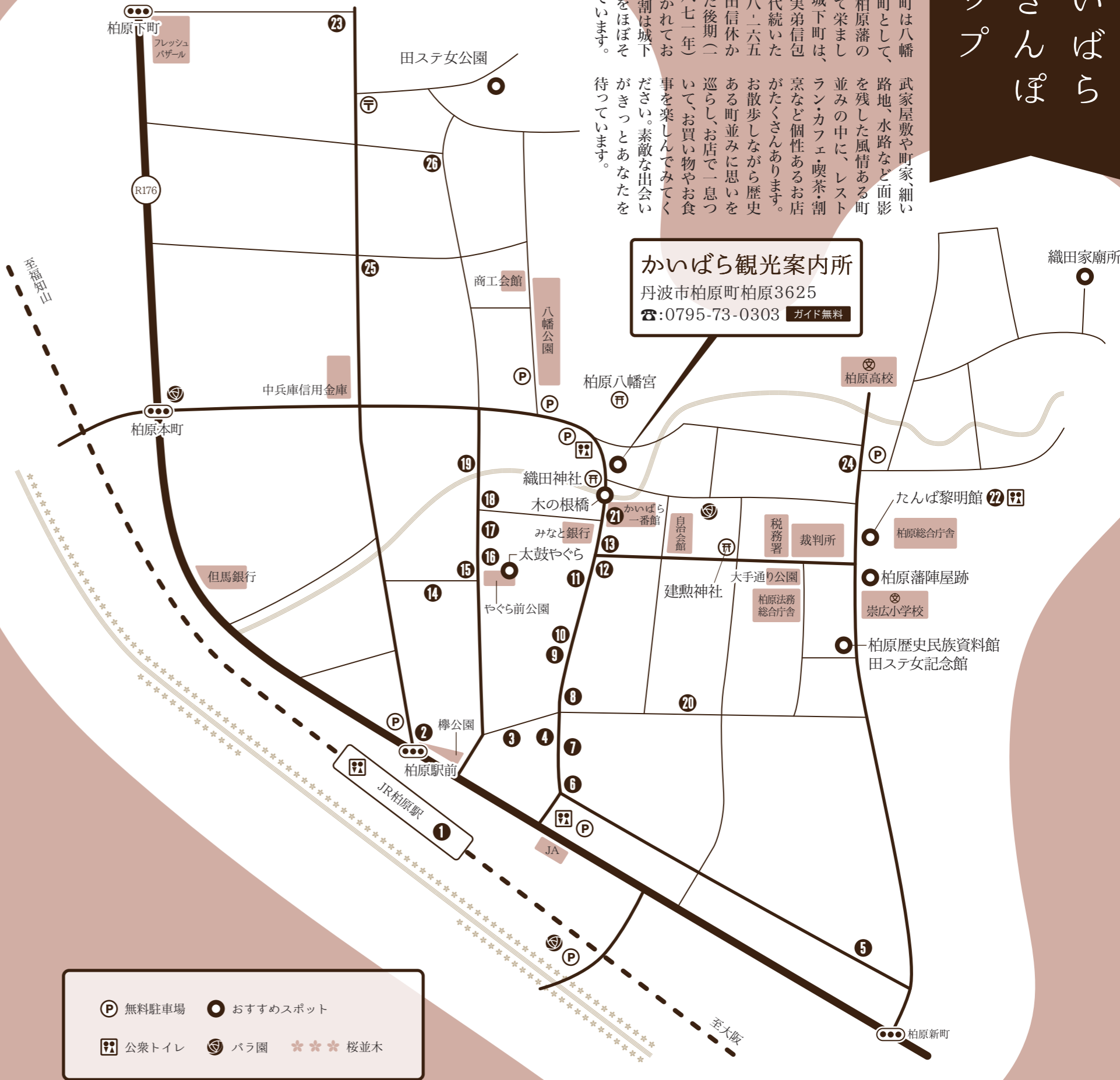


# かいばら おさんぽ マップ

丹波市柏原町は八幡神社の門前町として、後に織田家柏原藩の城下町として栄えました。柏原の城下町は、織田信長の実弟信包を初代に三代続いた前期（二五九八・六五〇年）と織田信休から十代続いた後期（二六九五・一八七一年）の時代に分かれており、現在の町割は城下町後期の姿をほぼそのまま残しています。

武家屋敷や町家、細い路地、水路など面影を残した風情ある町並みの中に、レストラン・カフェ・喫茶など個性あるお店がたくさんあります。お散歩しながら歴史ある町並みに思いを巡らし、お店で一息ついて、お買い物やお食事を楽しんでみてください。素敵な出会いがきっとあなたを待っています。

**かいばら観光案内所**  
丹波市柏原町柏原3625  
☎:0795-73-0303 **ガイド無料**



- ① 観光案内所 発 1時間コース
  - 観光案内所
  - 織田神社
  - 木の根橋
  - 建敷神社
  - 民俗資料館
  - 柏原藩陣屋跡
  - 観光案内所
- ② 観光案内所 発 1時間半コース
  - 観光案内所
  - 太鼓やぐら
  - 柏原八幡宮
  - 木の根橋
  - 柏原藩陣屋跡
  - たんば黎明館
  - 観光案内所
- ③ 柏原駅 発 2時間半コース
  - 柏原駅
  - 太鼓やぐら
  - 木の根橋
  - 柏原八幡宮
  - 織田家廟所
  - たんば黎明館
  - 柏原藩陣屋跡
  - 建敷神社
  - 柏原駅



## 市指定文化財 太鼓やぐら

藩政時代は大手門の付近にあったもので、内部は三層になっており、最上層の楼上には「つつじ太鼓」という大太鼓がつるしてある。当時は時報や警報に用い、火事には3点打、山火事と出水には2点打であった。藩主が江戸より帰藩する時の合図にも用いた。小学校ができてからは、児童の登校合図にも用いられていた。



## 国の史跡 柏原藩陣屋跡

柏原藩陣屋は織田信休が移封後約20年を経た正徳4年(1714年)に、柏原藩2万石の居館及び政庁として造営された。現存する建物は陣屋の表御門にあたる長屋門と表御殿の一部。全国でも数少ない陣屋遺構として、また明治以降小学校として使用された経緯から幕末から近代に至る学制の変遷を考えるうえでも貴重である。



## 県有形文化財 たんば黎明館

明治18年(1885年)に建設された旧氷上高等小学校を保存・再生し、飲食店や貸室として利用されている。近代初等教育施設の建築物としては兵庫県下では最古の部類に属するため、平成21年に兵庫県有形文化財に指定を受けた。



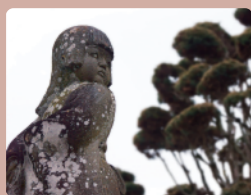
## 兵庫県天然記念物 木の根橋

樹齢1000年とも推定される大ケヤキの根が、幅6mの奥村川をまたいで自然の橋を形づくっている。昭和45年に兵庫県の天然記念物に指定されている。



## 国の重要文化財 柏原八幡宮

平安時代の万寿元年(1024年)に京都石清水八幡宮の別宮として創建された神社。安土桃山時代再建の複合社殿(本殿と拜殿)が国の重要文化財に指定されている。また境内には全国でも珍しく、江戸時代後期再建の三重塔がある。



## 柏原が生んだ俳人 田ステ女

田ステ女は寛永11年(1634年)当地で誕生しました。6歳の作である「雪の朝二の字二の字の下駄のあと」は、今でも色あせない句として親しまれています。柏原には田ステ女記念館や田ステ女公園など、田ステ女にまつわる名所が設けられています。